

授 業 科 目	装具学V		
教 育 内 容	専門分野	応用義肢装具学	
担 当 教 員	丸山貴之、那須祐介		
学 年	3	単 位 数	1
開 講 時 期	前期 (火曜日 I - IV 限)	時 間 数	講義 30 時間

■ 授業概要

靴型装具は足部の変形や歩行障害に対し、支持・矯正・免荷・荷重分散を目的として処方される装具である。本科目では基本的な足部・下肢の解剖・バイオメカニクスを理解していることを前提に、装具の機能と構造、さらに疾患に対して求められる機能を理解する。様々な疾患に対して適切な靴型装具を設計・製作できる基礎能力の習得を目的とする。

また、糖尿病足病変等に行われる免荷や、装具適合のための胼胝研磨、爪切りについても学習する。なお、本科目は靴型装具の製作を行う装具学実習 V と並行して進める。

■ 到達目標

- 1) 靴型装具の構造と機能を説明できる。
- 2) 疾患に応じた靴型装具の機能と補正を説明できる。
- 3) 靴型装具の製作のための足部の評価を説明できる。
- 4) 靴型装具の適合チェックのポイントを説明できる。
- 5) 靴型装具の製靴法を説明できる。
- 6) 足底の免荷の基本的な考え方と方法を説明できる。
- 7) 装具適合のための足底胼胝研磨、爪切りの方法を説明できる。

■ 授業内容

	内容	備考
第 1-2 回	オリエンテーション、靴型装具概論	
第 3 回	足部の評価	
第 4-5 回	疾患と靴型装具	
第 6 回	靴インサートと足底装具	
第 7 回	靴型装具の適合チェック	
第 8 回	靴型装具の製靴工程	
第 9-10 回	アッパーデザインとパターンデザイン	
第 11-12 回	靴型装具の材料と機能	
第 13 回	最終適合チェック	
第 14 回	糖尿病足病変	
第 15 回	免荷とフットケア	

■ 評価方法

最終試験 80%、小テスト 20%

■ 教科書

装具学 第4版、医歯薬出版

義肢装具のチェックポイント 第9版、医学書院

新編 装具治療マニュアル、医歯薬出版

■ 留意事項

■ 備考

<講師の実務経験>

丸山貴之：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 5 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 17 年間勤務。

那須祐介：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 6 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 2 年間勤務。